

## 大規模地震を想定した 消防庁図上訓練の実施概要

### 応急対策室

去る5月22日、消防庁職員を対象とした「消防庁図上訓練」を消防防災・危機管理センターにおいて実施しました。

消防庁では、大規模地震等発生時には、消防庁長官を本部長とする消防庁災害対策本部を設置し、消防庁全職員によるFシフト（Full Shift）体制（[図1]参照）により本部運営を行います。

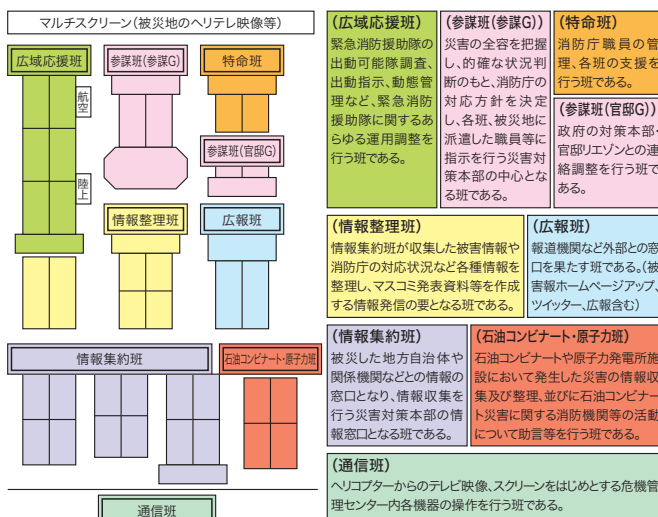
【図1】

#### 消防庁災害対策本部の体制

##### 【地震等大規模災害発生時】

- 消防防災・危機管理センターに直ちに全職員が参集。
- 予め定められた班体制により、情報収集・広域応援などの応急対応に当たる。

##### 消防庁災・危機管理センター配置図



Fシフト体制時には、NTT回線が途絶した場合でも、消防防災無線を含むあらゆる通信手段を用いて被災都道府県・市町村や消防本部から情報を収集するとともに、直ちに官邸へ人員を派遣し他省庁とも連携しながら災害

状況の把握に努めます。さらに、消防庁ヘリ等の映像情報のほか、被災地へ職員を派遣して直接災害概要・被害状況等の実態把握を行います。こうして得た各種情報をもとに、緊急消防援助隊出動要請・指示及びオペレーションをはじめとする、災害応急対策を進めています。（[図2]参照）

【図2】

#### 大規模災害発生時における消防庁の取組



今回の訓練は、4月期人事異動に伴う新規転入者のFシフト体制の理解、各班の業務の習熟にも重点を置いた訓練としました。以下、消防庁図上訓練の概要について紹介します。

## 1 目的

消防庁職員の判断・対応能力の向上を図るとともに、新たに見直した消防庁応急体制マニュアルの実践による各種業務の習熟・理解促進や官邸との連携体制の検証を行い、Fシフト体制の課題を抽出し改善することにより、実災害における消防庁災害対策本部機能のさらなる充実強化を図る。

## 2 訓練想定等

震源／規模 駿河湾南方沖/マグニチュード8.0、最大震度7

発災時刻 5月22日(木) 14時00分

訓練時間 14時00分～16時00分（2時間）

### 3 対象者

消防庁長官以下、本庁全職員

### 4 実施場所

消防防災・危機管理センター

### 5 訓練内容

今回の図上訓練は、事前に訓練シナリオを知らされずに、次々と発生・変化する事態に対応することにより、実災害時に近い訓練となるよう、ブラインド型のロールプレイング方式で実施した。

プレーヤーとコントローラーに分かれ、コントローラー側が都道府県、消防本部、官邸、報道機関などの関係者役になり、被害の状況（津波による被害、大規模住宅火災、石油コンビナートでのタンク火災、列車脱線事故等）や官邸、報道機関等からの要求といった実災害に即した状況を付与する。プレーヤーは付与された情報をもとに、以下の内容についての判断、決定、対策、措置等を行う。

- (1) N T T回線が途絶した場合を想定し、消防防災無線をはじめとする各種通信手段による都道府県、消防機関からの被害状況等の収集・把握
- (2) 限られた情報のもとでの緊急消防援助隊出動の判断、応援部隊及び応援先の決定、応援側・受援側の都道府県、消防機関及び関係省庁との連絡調整
- (3) 被害状況や緊急消防援助隊の状況について、官邸への迅速な情報提供、被害報の作成及び消防庁HPへの掲載等による国民への周知
- (4) 石油コンビナート被害に係る都道府県、関係機関からの情報収集及び活動の助言
- (5) 消防庁から被災地に派遣する職員の決定

### 6 実施結果

今回の訓練を通じ、新規転入者はFシフト体制時における各自の役割の理解を深め、また、全職員により新たに見直したマニュアルを実践、確認したことで、災害対策本部運営の習熟を高めることができた。

一方で、Fシフト各班の連携がやや不足したことから、災害対策本部内での情報共有に一部課題を残す結果と

なった。

今後は、こうした課題一つひとつを整理・検証した上で、職員のさらなる能力向上と連携強化に努め、災害発生時の対応に万全を期することとする。



Fシフト体制時の消防防災・危機管理センター内の状況



広域応援班による緊急消防援助隊の運用・調整の状況

#### 問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 応急対策室 小笠原  
TEL: 03-5253-7527 (直通)